

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

幕を閉じた夢物語 (ディー・ブレイン証券消ゆ)

2011年が明けました。今年はどんな年になるのか、新聞や経済誌等で盛んに報じられていますが、皆さんはどう考えているのでしょうか。多分、今年も厳しい年となるのではないかと考えている方が圧倒的に多いのではないのでしょうか。今の日本の状況(報道や見聞で知る)からすると、それも仕方ないと思います。日銀の短期経済観測や国税庁の法人課税実績、その他経済データ等を見るにつけ、この国の中小企業はどうなってしまうだろうかと不安になります。しかし、いつも云うようで恐縮ですが、こうした中でも好業績を上げている会社もあることは事実ですし、いくら愚痴をこぼしても事態は好転する筈ありません。自らの力で困難を乗り越えるしか方法はないのです。「そんなの解っている」とお叱りを受けるかもしれませんが、そこだけは強調しておかなければならないと思う次第です。

さて、それはそれとして、昨年起こったことで残念なことを一つだけ挙げると云われれば、私は躊躇なく「ディー・ブレイン証券(以下、DB証券)の消滅」を挙げます。このレポートを昔から読んで下さっている方には説明不要と思いますが、DB証券は「中小企業にも直接金融で資金調達の道を拓く」ことを大きな目的として発足した異色の証券会社でした。たしか97年頃の設立だったと記憶していますが、戦後30数年振りの新設証券会社として注目を浴びながらスタートしたのでした。しかし昨年11月、ファンド筋に買収され「みどり証券」と社名を変えDB証券設立者の夢は儚く散ったのです。

私は設立前から関心をもって接し、縁あって若干の出資もしていました。当然、同社の決算推移も注意深く見守ってきたのですが、期待を抱かせたのはたった数年でした。DB証券が担った中小企業のための株式市場(グリーン・シート、以下GS)に登録した中小企業(新株を発行して資金調達を行った中小企業)は、最盛期(05年頃)には100社近くに達し、その中から東証マザーズ等上位市場に上場した会社も数社出ましたが、現在の登録企業は半分の50社に激減、新規登録

企業も殆どなくなり閑古鳥が鳴く状況に陥ったのです。当然ながらDB証券の業績もドンドン悪化、自らがGSに登録すると共に数度の増資を重ねて資金調達を行いました。赤字から抜け出せず徒に資金を食い潰す状況に陥りました。

何故、こんな結果となったのでしょうか。

私にそれを語る資格があるかどうか分かりませんが、設立来近からず遠からずの位置にいた私が感じている最も大きな理由は、「日本では銀行が圧倒的に強く、中小企業が公募増資によって資金調達しようとする動機が薄い」ということです。勿論、DB証券社長の経営判断等に問題があったことは否めない事実だろうと思います。私も株主としてイライラしました。しかし、決定的な理由は「強固な間接金融に風穴を開けられなかった」所にあるのは間違いないように思うのです。

大分昔の話ですが、私がGS登録を勧めたある優良企業の社長が、「豊島さん、資金調達は銀行の方がずっといいよ。業績さえ保っていれば、銀行はうるさいことを云わないからね」と云いました。その時は「それは事実だが、やがて銀行(間接金融)が限界を露呈し、直接金融が評価される時代が来る」と思い描いていた私は、その言葉が持つ意味を本当の意味で理解していなかったのです。やはり銀行は強かった、そこに日本経済の限界を感じつつも、正直今はそう思います。

実は、DB証券の業績悪化と歩調を合わせるように、DB証券がGSに登録させる中小企業の魅力が低下していったように見えました。面白い、夢のあるような中小企業の登録が少なくなり、銀行融資から弾き出されたような中小企業が登録し始めたのです。「悪貨は良貨を駆逐する」の例えの通りとなりました。当然ながら、公募増資は不調となり、期待が外れた登録企業は増資が終わるとGSからあれこれ理由を付けて逃げ出して行きました。食い逃げ企業が続出しGSは衰退の一途を辿ったのです。正に自滅です。

DB証券創業期から期待をもって見守ってきた私は、少額ながら10数社ほどGS登録企業に投資してきました。しかし、その過半は期待外れに終わり今は2社しか残っていません。旧態依然とした日本の金融構造に疑問を抱いていた私はDB証券に期待していたのです。しかし、残念ながら、それも淡い夢物語に終わりました。

Weekly Fax Report Since 1996

《複製・転載等はこちらまでご連絡下さい》

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/

2011.1.8(626)

TEL.0438-53-6092 FAX.0438-53-6096

Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp